



UP-LE

Vol.18

1993年 8月25日

学校法人コア学園

飯田コンピュータ専門学校

〒395 長野県飯田市松尾明7591

☎0265-22-5111・FAX.0265-22-5100

入学式、そしてこれから...



平成五年度の飯田コンピュータ専門学校入学式が、四月八日に行われました。今年の三月に高校を卒業したばかりの八十七名が、県内をはじめ県外からも入学し、これからの学園生活に期待をふくらませ、瞳を輝かせていました。コンピュータについてこれから学ぶについて、皆それぞれの目標を持ってこの学校に入学したことでしょう。

入学式から数ヶ月たった今、学校にも少しづつ慣れてきて各教科も難しくなってきました。今が最も心がたるんでしまう時期ですが、入学した当日の皆それぞれの目標、そして瞳を輝かせる様な思いを忘れずに、悔いの残らない学園生活を送っていききたい。

窓の大きな南向き

飯伊地域の 高等教育に関する一考察

学校長 林 研 二

飯伊地域に大学がほしいという話はいくつもの話ではないだろうか。暫らく前からとり沙汰されているが、一日、大学のない拠点都市は噴飯向に日の目を見ず、その代替えのような形で飯田コンピュータ専門学校が誕生したことは衆知のことである。

最近、ある教育評論家のラジオ放送を聞いていたら、長野県には大学が三校（国立一、私立二）しかなく、日本に数少ない大学貧困県と断定した上で、昭和六十二年に開校した本校の第一回生に、定員を大中に上回る応募者があったことを高く評価し、大学や研究機関の必要性を説いておられた。

十八才人口の急減という、まぎれない事実の中、既存の大学等の中にはその存立を危ぶまれるものもなきにしもあらずという昨今であり、文部省はその新増設を抑制する方針をうち出している。にも拘わらず、全国各地に大学新設の動きが衰えていないこともまた事実なのである。一例を挙げると、新潟県柏崎市には新潟産業大学があるが、それに加えて、一九九五年には新潟工科大学が開校するというような現実を見ると、何故飯田の地に大学ができないのか不思議

この地に大学が立地し、既存の短大や専門学校などその機能を分担し合い、特色ある高等教育の地域として、若者の溢れる活気に満ちた学園都市に育っていくことを乞い願うものである。

そうは言っても大学設置ともなると大きな資金を要する仕事であり、加えて、クリアすべき諸々の壁を覚悟しなければならぬ。その辺の事情で今日まで実現をみられなかったことは十分に察しられるところである。

昔の人は「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」と言っている。この地域に是非とも必要なものだとしたら、住民の総力を結集して、その実現を期す努力を傾注すべきであると思う。

中央道沿線の近隣都市をみると、伊那市に信大農学部、駒ヶ根市に県立看護大学、中津川市に私立中京学院大学経済学部があり、四年制大学がないのは飯田市だけというのは如何にも淋しいと思うのである。

入学して思っていること

この学校に入学してみてもいいとは思いますが、授業の内容が今まで自分が習ってきたものと極端に違うということだと思います。それは入学して何ヶ月かたった今でも強く感じています。だから、しっかり勉強して慣れなければならぬと思います。

この二年間を無駄にしないように少しでもコンピュータの事を理解できるようにがんばりたい

入学して

情報二組代表

成績優秀者になろうと思いついて三ヶ月たとうとして、今は遠い願いだ……。最初は訳のわからなかった事にもなれてきた。九時に学校が始まり早い時は二時半に終わる。時間があるために友達を作れる、友達と遊ぶ、楽しい。

でも少しのんびりしているかもしれない。ここの風土にその



いと思います。

ような傾向があるためと聞き直ることもできるが、このままでは目標である二種合格はできない。苦しいかもしれないが努力しようと思う。

さあ、がんばるか。皆さんもがんばりましょう。

どうか不安です。でもわからないところは人に聞いたり、自分で調べたりして自分のものにしていきたい。

二年間やっていけるか不安だけれどとにかくがんばってやっていきたい。



入学して感じたこと

情報二組匿名

僕がこの学校に入学して感じた事は、雰囲気が高校までとは全く違うということです。授業時間も九十分と、高校のころとは考えられないような長さです。それに授業は初めて習うことばかりで二年間授業についていけ

入学生へ

某生徒代表

一年生のみなさん、もう学校生活には慣れたでしょうか。最近一年生のにぎやかな声が聞こえてきますが授業は静かに受けましょう……。知っている僕達二年生は静かに授業を受けているでしょうか？ そのへんは



先生方に問い合わせてください。と言う訳でそろそろ本題に入りますがその本題というのが「一年生における言葉」という事なので二年生を代表して僕から一言……。僕はあまり人に物事を言える程の人間ではないのですが、とにかく一年生のみなさんには「目標」をもってもらいたいです。

くても必ず自分にプラスになるものがあると思います。では一年生のみなさん、がんばって学園生活を乗り切ってください。

どんな事でも始める前には少なからず目標を持ってから始めると思います。だからまずこの学校で何をしたいのか、どんな事をしたのか目標を作ってみてください。目標が出来れば後はそれに向かって進むだけです。先生方や友達もきっとそれに協力してくれると思います。

もし目標が達成しな



就職戦線

①二年生の状況―地元志向多数

男性五十二名女性十九名、合計七十一名が来年三月の卒業予定者で、うち上伊那郡出身者十五名と松本出身者一名はそれぞれ全員出身地への就職希望、飯伊地区出身者は五十五名で、県外志向は男性二女性一の計三名、あとは全員地元就職希望です。

②求人状況―不況の影響

九十年九十一年をピークに、昨年更に今年と不況の波をかなり厳しく受けております。特に情報処理業界のうち独立系のソフトハウスが厳しいようです。本校に対する東京方面を中心とするソフトハウスの求人は、企業数採用予定数とも減っています。

しかし、本校の場合幸い県外希望が三名のみですので比較的業に対応できそうです。地元各産業も不況の影響はかなりきつ

③就職活動状況―真剣に対処

景気の先行きが仲々見えてこないが、それだけに今年の二年生は全般的に熱心で、五月頃より企業訪問を始め、七月頃より内定者が始め、八月中旬の時点で過半数が決まりました。この新聞が発刊される頃は、公務員志望者を除きほぼ決定するものと期待しています。ただ今年の傾向は受験から内定までの期間が長く、中には一次試験から決定まで一ヶ月以上かかったところもあり、対策に苦労しました。

④試験の傾向

面接・作文・学科試験が普通のパターンですが、従前より学科試験を課するところが非常に増えました。一般常識の形で国

面接・作文・学科試験が普通のパターンですが、従前より学科試験を課するところが非常に増えました。一般常識の形で国

く、選ぶより選ばれるようになつたのは事実ですが、幸い協賛会企業を中心に好意的に接して下さるし、開校七年目を迎え地元とのパイプも徐々に太くなりつつあり、この密接な関係を大切にし、地元の利を生かして優位に活動をすすめております。

十分間ぐらい話をせよなど、企業がより質の高い人材を求めようとする真剣な姿勢を伺わせる例など、日頃からトータルに力をつけておく必要を痛感させられる事が多々ありました。

協賛会だより

去る七月二十日に松尾公民館において平成五年度協賛会総会が行われ、平成五年度協賛会役員の改選が行われました。結果は次の通りです。

- ・ 会長 中島 威人
- ・ 副会長 片桐 利光
- ・ 理事 黒柳 忠勝
- ・ 理事 村松 芳孝
- ・ 理事 熊谷 博
- ・ 理事 宮下 秀夫
- ・ 理事 種村 良平
- ・ 理事 中村 昭男
- ・ 理事 外松 淳
- ・ 理事 松澤 泰
- ・ 理事 宮脇 裕和
- ・ 理事 小原 由紀夫
- ・ 理事 吉川 光國
- ・ 理事 野原 莞爾
- ・ 監事 碓井 治
- ・ 監事 篠田 健
- ・ 幹事 鈴木 康弘
- ・ 幹事 山岸 英二
- ・ 幹事 田辺 陸海
- ・ 幹事 関島 克郎



田中憲久
高田正男
以上のようになりました。

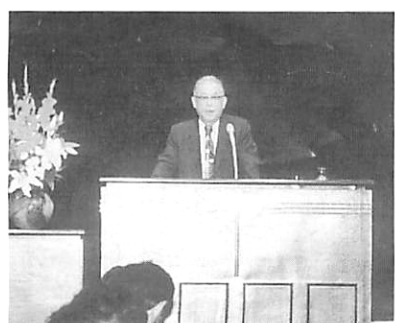


記念講演

続いて同会場で総合講座(記念講演)が行われ「拠点都市計画と飯伊地方の将来」と題して、飯田市助役の村松芳孝氏よりお話を頂きました。

この中で村松氏は、当圏域の魅力性、具体的な整備方向として、三遠南信自動車道整備による我が国の太平洋側、日本海を結ぶ中部地方の結節地域の形成、我が国の中心に位置し愛知県、静岡県と長野県を結ぶ県境を越えた国土圏を形成、魅力ある都市機能形成、好労働条件企業の誘致などいくつかの項目を上げられ、更に整備の基本方針と拠点地区の関係として飯田下伊那地区を八の拠点地区に分け、基本方針として、都市機能、産業振興、居住環境、人づくり、ネットワークと五の項目に分け、多

彩な交流機会を創出する都市機能、暮らしやすい住環境の整備など飯田市の拠点都市整備計画に対する意気込みが感じられました。他にも村松氏は都会の人達の声として「水がおいしい」「空気がおいしい」など、この地域の良い所を上げられ、都会の人からもこの飯伊地方が注目を浴びているという話を聞いて、この拠点都市整備計画が一日でも早く実現すればいいなと思いました。



春のスポーツ大会

スポーツ大会



好天に恵まれた(ちょっと雨模様)四月三十日、新入生の歓迎と親睦を深める意味でスポーツ大会が行われました。ソフトボール、バレーボール、バスケットボール、バドミントンと各クラスの熱戦が繰り広げられたことと思います。

入学してまだ一ヶ月程の一年生に比べ二年生は余裕といった感じでしたが、いざ試合が始まってみると一年生もなかなかのものでどの試合も大変な盛り上がりを見せていました。

今回のスポーツ大会は一年生にとって二年生やクラスメイトとの親睦を深める意味でもとても良いものだと思います。

僕達一年生にとって今回のスポーツ大会はこの学校に入学して最初の行事でした。

スポーツ大会当日までは果してクラス全員が出てくれるだろうか、とか、誰がどの種目に出るか決めるのがとても大変でした。

でもスポーツ大会当日はみんな出て来てくれてよかったです。このような行事の中で知らない

かった人と話せるようになったり、仲良くなれたり本当に良い事だと思いました。

結果は内緒ですが、自分達の初めて参加した行事にしては自分なりに一生けんめいできたと思います。時にはこんな息抜きも良いと思います。

また秋のスポーツ大会もがんばりたいです。

スポーツ大会を終えて

二年電子 Gan

今回のスポーツ大会では我が二年電子は例年になく人員不足でソフトボールはキャンセル、そのためバドミントンとバレーボール、バスケットボールの三種目をチョイスしての参戦となりました。

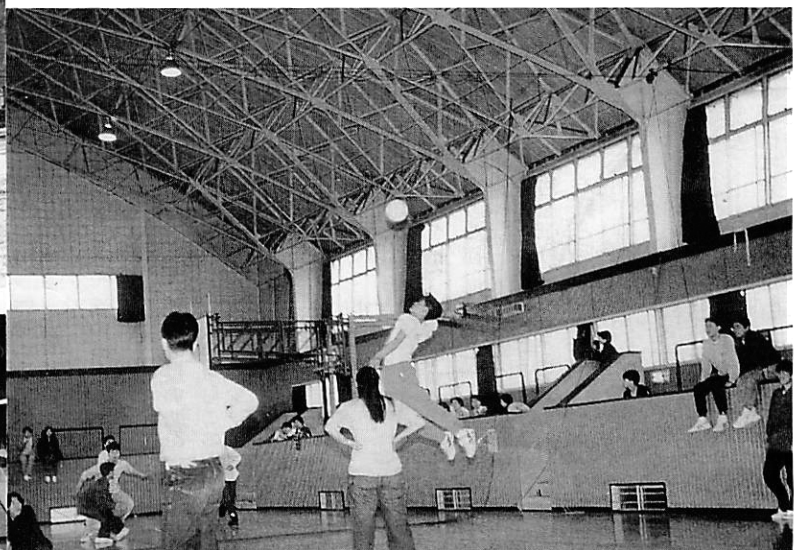
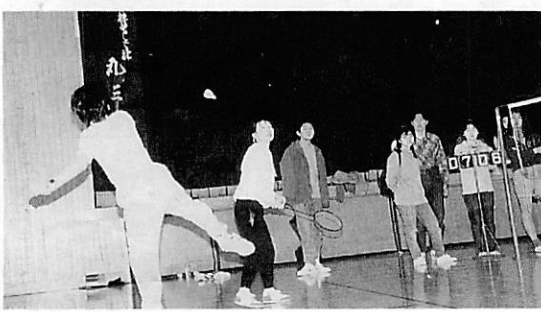
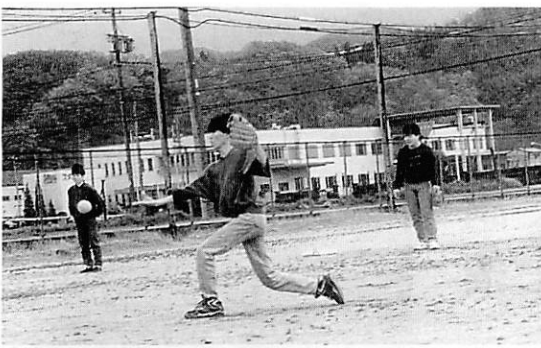
しかしその三種目も何人かが掛け持ちで参戦するというのも大変なもので田舎の人員不足がこんな所まで影響しているのかと明日の農業に少し不安を抱いてしまいました……なーんてね。

小生はバレーボールに参戦し

た訳ですが、久しぶりなのか、それとも日頃の運動不足+αで体にガタが来ているのかどうかは内緒におきますが、なかりハードなものとなりました。

でも試合をしているうちに段々と燃えてきてそんなことも忘れて結構楽しむことが出来ました。

結果はともかくみんなできになり頑張ることができてとても良いスポーツ大会になったと思います。



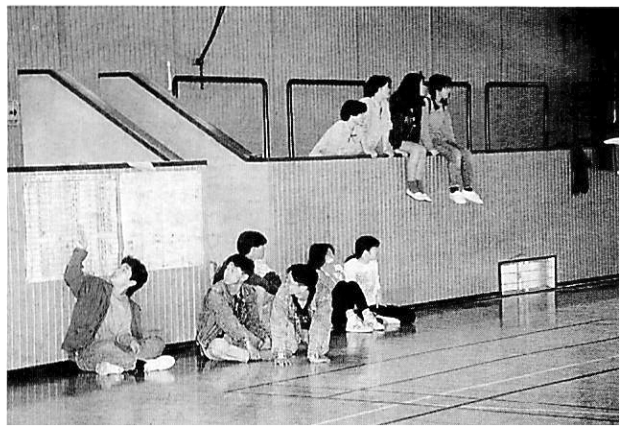
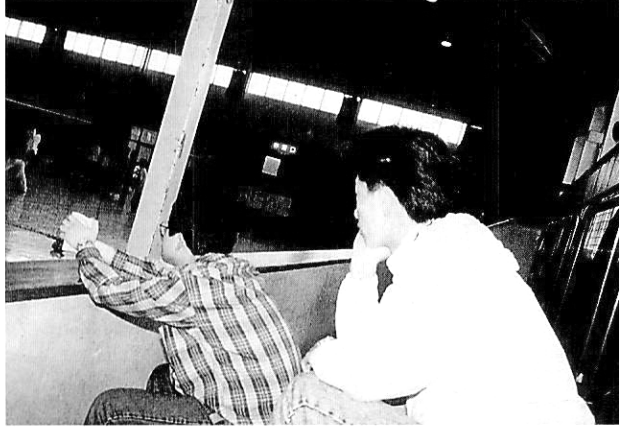
3 位	2 位	優 勝	3 年	2 位	優 勝	3 位	2 位	優 勝	3 年	2 位	優 勝	3 位	2 位	優 勝
2 年電子	1 年電子A	1 年電子B	2 年情報A	2 年電子	2 年OA	1 年情報1組	1 年情報2組	1 年情報1組	2 年情報A	2 年電子	2 年OA	1 年情報1組	1 年情報2組	1 年電子A



以上のような結果になりました。好天の中(ちよつと雨模様)皆さんの想いが一つになり(賞金目当て?)頑張れたことと思います。

一年生にとって初めてのスポーツ大会で二年生との交流は初めてのことと思いますが、この一日でかなり深められたと思います。この一日で自分の中に新しい何かを発見できたことで、しょう。日頃の運動不足も解消できたとおもいます。

勝ったチームもあり、負けたチームもありますが「次こそは」という想いで頑張ってください。



HOTLINE

心を新たに次代の学校づくりを

事務長 植原英勝



この四月一日付けで、飯田コンピュータ専門学校に勤務することになりました。とは言っても、実は私は所謂「出戻り」で、三年ぶりに飯田校に戻って来たという次第です。

三年という期間は、短い様でもあります。反面、非常に大きく重い時の経過の三年間であったというのが実感です。そのことを強く感じたのが、七回目を迎えた今年の入学式でした。第一期入学生から数えると、実に六三三名の多くの若人がこの学校に学び、そして四〇三名が既に社会人となって、地域社会の第一線で活躍しています。三年前には、まだまだ生まれ始めて、ヨチヨチ歩きを始めたばかりの学校でしたが、この間に、地域という大地に着実に根を伸ばし、幹も一回り大きく、そして枝を四方に伸ばし、緑の葉を繁らせ

た逞しい姿を目にした時、社会の中で、一步一步確実に足跡を残して行くことの意義と力強さを感じました。

若者の定着による地域活性化を、そして新しく到来する情報化社会の拠点にと、多くの方々の熱い期待や願いの中でこの学校がスタートしたあの時の感激。そして、それが一つひとつ確かな手応えとして実を結んで行くことの素晴らしさ、そうした感動に直に触れられるこの学校で、再び仕事の出来る幸せに感謝しつつ、精一杯勤めたいと思っています。

ところで、学校を取り巻く環境にはさまざまな、そして大きな変化が見られます。勿論、当校の入学対象者となる高校卒業生（十八才人口）の減少もその一つですが、バブル経済の崩壊による景気低迷とその長期化は、採用の手控えを誘発し、就職戦線は曾て経験のない様相も見せています。

一方、この飯田地方は「地方拠点都市」として、今後の整備計画の策定が進み、更に、三速

南信自動車道などの大型プロジェクトも推進され、二十一世紀に向けて大きな変貌が期待されています。

こうした環境の中で、改めてこの学校の地域での位置を明らかにし、これからのあり方を模索して行かなければならない時代であると思います。新しい時代にふさわしい地域の学校づくり、些かなりとも役立つ仕事ができるよう努めたいと念じております。

業務内容は、システム営業本部に配属になりシステム販売の営業を担当しています。販売する主製品は「NGA2100」という大型コンピュータに使われるカートリッジ式磁気テープの自動倉庫です。販売価格が数千万円から数億円もするもので、客先へ訪問したからといって、客先へ受注出来るものではありません。受注までに、早くて八ヶ月、長いもので一年半もの営業活動をしたそうです。まだ慣れない仕事なので、悪戦苦闘しています。早く商品知識を自分のものにして、コアグループの売上に貢献しなければと思いつつ活動しています。

近況報告

松本 喬

四月八日入学式に参列させてもらい、その式典終了後、入学式に参加した二年生に挨拶をしてから早、四ヶ月が過ぎ去ろうとしています。その時は、九六年度の飯田コンピュータ専門学校での生活の色々な想いが頭の中を駆け巡り、思わず涙してしまい少し照れています。東京に転勤が決まり、あわただしい引越してゴールドデンウィークを過ぎてまだまだ荷物の整理がつかず、ぐちゃぐちゃの中で生活している毎日です。住居は新宿区大久保で実家に同居させてもらっています。勤務先は佛システムコアに在籍し、本社の三軒茶屋コアビル内四階にて仕事をしています。



最後にになりましたが、飯田コンピュータ専門学校の教職員の方々をはじめ大勢の関係各位の皆様には、大変お世話になりました。感謝の気持ちで一杯です。この紙面を利用してもらい申し上げますが、御礼を申し上げます。

伝言板

- 7月24日～8月29日 夏休み
- 9月27日～10月1日 前期定期試験
- 10月3日 日商ワープロ技能検定
- 10月12日 後期授業開始
- 10月17日 英語技能検定(一次) 情報処理技術者試験
- 11月14日 ビジネス文書技能試験
- 11月21日 マイコン試験 日商簿記検定 ペン字検定 秘書技能検定
- 11月25・26日 遊楽祭
- 11月28日 英語技能検定(二次)
- 12月5日 日商ワープロ技能試験
- 12月12日 情報処理認定試験
- 12月25日～1月9日 冬休み

各種試験合格者

93年6月30日現在

- 第二種情報処理技術者試験
 - 桐野 隆志 (二年情報)
 - 熊谷 圭史 (二年情報)
 - 宮下 雄光 (二年情報)
- 日本商工会議所ワープロ4級
 - 小笠原栄司 (O A)
- 金子 幸穂 ()
- 上沼 美香 ()
- 北村 直子 ()
- 西尾 佳晃 ()
- 日本商工会議所 簿記3級
 - 熊谷 陽子 (二年情報)
- 富永 美穂 ()
- 代田 明子 (一年情報一組)
- 日本商工会議所 簿記4級
 - 今井 智博 (二年情報)
 - 塚本 浩二 (二年情報)
 - 市瀬 優子 (一年情報一組)
 - 中山 聡子 ()
 - 小野 敦子 (一年情報二組)

編集後記

活動を始めたのが遅く最後になって大変な思いをしましたが、無事UP-LE18号を発刊することが出来ました。

始めての編集ということもあって委員の皆さんは大変だったと思います。協力頂きありがとうございます。また、発刊が大幅に遅れてしまいましたが、これからはもっと頑張ってください。これからますます早く発行できるように委員一同頑張ってください。お願いします。

今年はまだ暑い夏とはいえませんが皆さんは充分たのしめたでしょうか。また二年生は就職のことなど色々大変ですが頑張って下さい。